

校 訓 『 美に挑む 』
学校教育目標 『 自分から ～つながる～ 』
重点目標 『 たくましさ やさしさ 』

相手を思いやるころ

12月10日は、世界人権デー（Human Rights Day）です。昭和23年12月10日に、国際連合が世界人権宣言を採択したことから、この日が世界人権デーとなりました。また、12月4日～10日は、人権週間となっています。今年の第76回人権週間においても、『『誰か』のことじゃない。』を重点目標として、啓発活動を展開するとしています。「いじめや体罰、性被害等の子どもの人権問題、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別といった多様な人権問題が依然として存在しています。これらの問題の解決には、私たち一人一人が様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。」と謳われています。私たち大人は、子どもが一人の人間として最大限に尊重されるよう、この問題についての関心と理解を深めていくことが大切だと感じています。

「人権」というと難しいことと思いがちですが、学校生活の中で人権意識をもった活動場面がたくさん見られます。授業では、友達と関わり合う場として、ペアやグループ活動を授業の中に位置付けています。この活動を通して、相手の考えを真剣に聴き、お互いの考えを認め、相手を尊重し合う気持ちが養われています。生活面では、子どもたち同士の関わりの中で、人の心を温かくするやさしい言葉をつかっている姿を多くの場面で見られます。各学級においても、帰りの会で、その日に見つけた友達の良いところを伝え合う活動を行っています。行事後には、学年やクラスで「ありがとうカード」を書き、お互いの良さや頑張りを認め合う機会を設定しています。私たち教員も、学校生活の中で見られた子どもの良さを、他の子どもたちに紹介し広げたり、一人一人の子どもの見取りをしっかりと行ったりすることができるようにしています。また、人権意識を高く持てるように研修を繰り返し行っています。



このように、学校ではすべての教育活動において、他者への思いやりの心などの人権感覚を養っていくことができるように取り組んでいます。「人権」は誰にとっても身近で大切なものであり、日常生活の中で養われるものです。上記のような活動を今後も継続し、田子浦中学校の生徒が、温かな心を持ち、自分自身も友達も大切にできるようにしていきたいと思います。

12月で令和6年が終わります。子どもたちにとって、この1年がかけがえのない日々であることを改めて痛感しています。

今後も、子どもたちのよりよい成長のために、充実した教育を目指していきます。

<ホームページについて>

現在、ホームページ内「田子浦中学校の今」において、日々の様子についてアップしています。右のQRコードから御覧になれますので、御活用ください。

